

事務事業分析シート（平成20年度）

No1

事務事業名	フィルムコミッション関連事業	部課名	産業経済部観光振興課	課長名	吉野 豊喜
		担当者名	森田美佐世	内線	461
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（19年度）	ロケーション施設管理費(54-80-50-01)				
事務事業の種類	○ 新規事業（○ 20年度 ○ 19年度）		○ 建設事業	● それ以外の継続事業	
開始年度	○ 昭和 ● 平成	15 年度	根拠		
終期設定	● 有 ○ 無	22 年度	法令等		
実施基準	○ 法令基準内 ○ 都基準内 ● 区独自基準		計画区分	● 計画	○ 非計画
行政評価事業体系	分野	産業革新都市[Ⅲ]			
	政策	人が集う魅力あるまちの形成[06]			
	施策	観光による地域活性化の推進[06-01]			
目的	映画、ドラマ、CMなどの撮影を区内に誘致し、映像を通して区のイメージアップを図る。				
対象者等	映画、ドラマ、CMなどの制作会社				
内容	<p>区内公共施設や区内での撮影を誘致するために、施設の提供、手続きの利便性向上等支援を行う。</p> <p>1 旧道灌山中学校校舎3階の一部を映像制作コーディネータに貸付け、ロケ場所として提供</p> <p>①貸付場所 荒川区西日暮里5-37-5 旧道灌山中学校 3階一部346.64㎡(トイレ等教養部分は除く)</p> <p>②貸付料 月額 223,000円</p> <p>③共益費 月額 50,000円</p> <p>④使用時間 午前9時～午後9時</p> <p>2 ロケに関する相談受付、情報提供、区施設使用に係る連絡調整</p>				
経過	<p>平成13年 3月 道灌山中学校校舎 9月 校舎をACCに無償貸与</p> <p>平成15年 2月 ACCがロケ場所として提供(映像制作コーディネータに貸付け) 10月 ACCへの無償貸与中止、区が映像制作コーディネータに貸付け</p> <p>平成17年 4月 公募により、コーディネータの選定</p> <p>平成18年 6月 貸付け方法の見直し</p> <p>平成19年 3月 公有財産管理運用委員会において、平成22年度まで延長決定</p>				
必要性	映像を通じた区のイメージアップを図ることができる。				
実施方法	(1直営) (直営の場合 ● 常勤 ● 非常勤 ○ 臨時職員)				

予算・決算額等の推移	(単位：千円)							
	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	
予算額			16,166	6,185	1,409	1,382	1,396	
①決算額(20年度は見込み)			535	570	629	627	1,396	
②人件費				3,062	904	1,342		
【事務分担量】(%)				50	25	30		
合計(①+②)	0	0	535	3,632	1,533	1,969	1,396	
国(特定財源)								
都(特定財源)								
その他(特定財源)		3,129	7,958	4,202	6,585	3,276	3,276	
一般財源	0	-3,129	-7,423	-570	-5,052	-1,307	-1,880	
実績の推移	事項名	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
	旧道灌山中学校利用件数			85	145	80	73	70
	その他区施設でのロケ件数			40	34	23	27	30
	ロケに関する相談等受付件数					73	51	80

事務事業分析シート（平成20年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成18年度（決算）		平成19年度（決算）		平成20年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	光熱水費	電気料	85	電気料	81	電気料	132
需用費	建物修繕ほか	0	建物修繕ほか	35	建物修繕ほか	674	
役務費	受水槽清掃	12	受水槽清掃	12	受水槽清掃	12	
委託料	清掃、管理、警備	532	清掃、管理、警備	499	清掃、管理、警備	578	

指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		17年度	18年度	19年度	20年度	目標値 (22年度)	
①	旧道灌山中学校利用件数	76	80	73	70	70	暫定利用（平成22年3月まで）
②	その他の区施設でのロケ件数	34	23	27	30	30	公園、体育館等の利用状況
③	ロケに関する相談件数	—	73	51	80	80	観光振興課受付分

（問題点・課題分析）	①撮影の誘致を拡大するためにPRの充実、支援機能の充実が必要である。 ②区のイメージアップに結びつけるための方策について検討する必要がある。
	（実施 2 区 未実施 区）
他区の実況	台東区フィルムコミッション（平成17年度） 学校施設の提供は、台東区、豊島区が実施

問題点・課題の改善策検討		
	平成21年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
①	区施設の使用に関して、関係部課との連携により、利便性を拡大するなど支援機能の充実を図る。	ロケ手続き等の利便性を充実することにより、ロケの誘致件数を拡大できる。
②	クレジットの挿入依頼、ロケに関する区内外へのPR等イメージアップに結びつけるための方策について検討する。	映像を通じた区のイメージアップ効果が期待できる。
③		

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
C	C	現状の規模・実施方法を維持しつつ、効果的・効率的な実施に努める。

議会質問状況（要）	H14二定 FCの検討について H14三定 「ロケの街」として売り込むための取り組みについて
-----------	---

事務事業分析シート（平成20年度）

No1

事務事業名	観光情報提供事業	部課名	産業経済部観光振興課	課長名	吉野 豊喜
		担当者名	坂野、野沢	内線	461
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（19年度）	観光情報提供事業(54-82-33-01)				
事務事業の種類	新規事業（20年度 19年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	14 年度	根拠		
終期設定	有 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	産業革新都市[]			
	政策	人が集う魅力あるまちの形成[06]			
	施策	観光による地域活性化の推進[06-01]			
目的	荒川区の観光情報を区内外に広く提供することによって、区のイメージアップを図るとともに区への来訪者を増やし、地域経済の活性化を図る。				
対象者等	区外の人々及び区への来訪者				
内容	1 観光ガイド（イベントカレンダー）の作成（平成14年度～） 2 産業HPに区内行事のインターネット動画配信（平成14年度～） 平成18年度から9件（都電荒川線沿線のバラ、素盞雄神社天王祭、諏方神社御神幸祭、胡録神社例大祭、尾久八幡神社例大祭、仲町通り阿波踊り大会、元三島神社大祭、石浜神社神幸祭、熊野前サンパカーニバル）を常時配信 3 産業HPに都電荒川線花見どころサイトの開設（平成14年度～） 4 まちあるきマップの作成（平成17年度日暮里・南千住、18年度都電荒川線沿線、19年度日暮里・南千住改訂） 5 観光ボランティアガイド養成講座（平成18年度全10回27人登録、19年度全10回15人登録、20年度全10回予定） 6 観光ボランティアガイドの活動（平成18年度～） 7 都電荒川線沿線散策マップの作成（平成19年度） 8 行政向け観光パンフレットの作成（平成20年度） 9 観光スポット特集冊子の作成（平成20年度） 10 荒川区紹介冊子作成（平成20年度）				
経過					
必要性	多様な情報発信により区のイメージアップ、来訪者の増加を図ることができる。				
実施方法	（1直営）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	
予算額	2,152	7,192	14,727	2,775	2,816	5,933	10,000	
決算額（20年度は見込み）	1,894	2,292	1,276	3,155	2,391	4,776	10,000	
人件費				6,033	9,394	11,102		
【事務分担量】（%）				70	110	130		
合計（+）	1,894	2,292	1,276	9,188	11,785	15,878	10,000	
国（特定財源）								
都（特定財源）								
その他（特定財源）								
一般財源	1,894	2,292	1,276	9,188	11,785	15,878	10,000	
実績の推移	事項名	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
	観光ガイド(イベントカレンダー)	5,000部	8,000部	20,000部	20,000部	20,000部	20,000部	20,000部
	まちあるきマップ				116,000部	56,000部	116,000部	58,000部
	観光ボランティアガイド養成講座					27人	15人	20人
	観光ボランティアガイドの活動					2回	7回	10回

事務事業分析シート（平成20年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成18年度（決算）		平成19年度（決算）		平成20年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	報償費	観光ガイド養成講座謝礼	161	観光ガイド養成講座謝礼	23	観光ガイド養成講座謝礼	230
	一般需用費	観光ガイド	395	観光ガイド	436	観光ガイド、観光案内冊子ほか	3,844
		観光ガイド養成講座ほか	101	観光ガイド養成講座ほか	2,281	パンフレットスタンドほか	442
	委託料	動画配信	382	動画配信	148	動画配信	798
		まちあるきマップ	1,352	まちあるきマップ	1,888	まちあるきマップほか	3,657
						写真撮影委託	756
	備品購入					カメラほか	273

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		17年度	18年度	19年度	20年度	目標値 (22年度)	
	観光ボランティアガイド案内者数		23人	206人	200人	200人	
	観光ボランティアガイド活動者数		8人	50人	50人	100人	

(指標分)	ニーズに応じて区の魅力や最新の情報を適切に提供していく必要がある。 観光ガイド養成講座修了者をボランティアガイドとして有効活用するしくみづくりが必要である。
他区の実況	（ 実施 22 区 未実施 区 ）

問題点・課題の改善策検討	
平成21年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
ホームページやパンフ等の充実を始め、多様な手法によりニーズに応じた荒川区の観光情報を提供する。	適時適切な情報発信を行い、区の魅力を多くの人々に伝えることにより、来訪者を増やすことができる。
観光ガイド養成講座修了者を活用するしくみをつくり、来訪者にボランティアガイドとして斡旋する。	区民参加の拡大を図るとともに、来訪者に対する受入体制を充実することができる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
重点的に推進	重点的に推進	観光振興を図るための基本的な事業であり、拡充に努める必要がある。

議会質問状況（要旨）	H16一定 観光振興に学芸員を活用して。 H16三定 観光組織づくり。観光スポットを売り込む。 H16三定 コリアンタウンの情報発信をすべきである。 H16四定 観光ガイド養成講座を開設。菓子問屋ミュージアムの開設。 H18三定 観光マップの活用を図るため、協力店を募集し、配布拡大を図るべきである。 H18四定 日暮里、三河島の再開発ビルに「観光案内ステーション」を設置し、観光スポットを発信する。
------------	---

事務事業分析シート（平成20年度）

No1

事務事業名	荒川ブランドセールスプロモーション事業	部課名	産業経済部観光振興課	課長名	吉野 豊喜
		担当者名	日下正秀	内線	461
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（19年度）	荒川ブランドセールスプロモーション事業(54-82-50-01)				
事務事業の種類	新規事業（20年度 19年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	17 年度	根拠	平成19年度等京都産業を活かした観光ルート整備支援事業費補助金交付要綱	
終期設定	有 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	産業革新都市[]			
	政策	人が集う魅力あるまちの形成[06]			
	施策	観光による地域活性化の推進[06-01]			
目的	区内で製造、販売されている荒川区らしい優れた商品について区内外にPRを図ることにより、区のイメージアップ、観光と産業の振興を図る。				
対象者等	商品の製造、販売事業者 区民、区外の人々及び来訪者				
内容	<p>1 「荒川ブランド」商品を紹介する冊子の作成・配布 平成17年度 荒川のおすすめ品 区民が選んだおみやげ編Part 1（33商品） 区民から公募し、選定委員会において選定 平成18年度 伝統工芸品、荒川マイスター製品編（伝統工芸品47商品、荒川マイスター製品17商品） 平成20年度 伝統工芸品、荒川マイスター製品編改訂予定</p> <p>2 「荒川ブランド」PR 区報、産業ニュースHP等で商品の紹介、 荒川ショッピングモールで商品を紹介・販売（平成17年度～） 日本コンシルジュ協会定例会（平成19年1月）においてPRし、各ホテルに配付 集客施設での実演・展示・販売 都庁観光情報センターPRコーナー （18年3月延べ17日間8人、19年3月19日間7人、20年2月19日間8人、20年11月予定） ムーブ町屋一村一品マーケット（18年12月延べ6日間5人） 全国市長会関東支部総会物産展（20年5月16日）</p> <p>3 産業観光スポット整備支援事業 区内で製造行を営む事業者等が「モノづくり」の現場を訪れた人々に公開するために、作業所（工場等を含む）、店舗、自宅等の改修を行った場合に補助金を交付する。 2/3補助（100万円上限）うち1/2は「東京都産業を活かした観光ルート整備支援事業費補助」 平成19年度 2件 平成20年度 5件（予定）</p>				
経過	平成20年度から、産業観光推進事業に統合				
必要性					
実施方法	（1直営）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）				

		（単位：千円）						
		14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
予算・決算額等の推移	予算額				3,000	29,914	9,400	
	決算額（20年度は見込み）				2,771	4,251	2,501	
	人件費				4,310	7,686	4,697	
	【事務分担当】（%）				50	90	55	
	合計（+）	0	0	0	7,081	11,937	7,198	0
	国（特定財源）							
	都（特定財源）						698	
その他（特定財源）								
一般財源	0	0	0	7,081	11,937	6,500		
実績の推移	事項名	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
	商品紹介冊子作成（部）				10,000	20,000		
	PRイベント				1	2	7	
	産業観光スポット整備						2	

事務事業分析シート（平成20年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成18年度（決算）		平成19年度（決算）		平成20年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	報償費						
	一般需用費	シール印刷	99	消耗品	159		
	委託料	カタログ印刷	3,192	パネル作成	138		
	委託料	展示販売会場設営委	873	展示販売会場設営委	447		
	使用料	展示販売会場賃料	87	産業観光スポット整備	1,396		
	負担金			産業観光スポット看板	361		

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		17年度	18年度	19年度	20年度	目標値 (22年度)	
	荒川ブランドPRイベント		2回	7回	6回	6回	
	産業観光スポット整備件数			2件	7件	20件	件数については累計件数

(指標分)	PR、展示・販売の場所や機会の拡大を図る必要がある。 展示・販売店舗は、実施したうえでの課題等を整理し、実施方法の改善にフィードバックしていく必要がある。
他区の実施状況	（実施 5 区 未実施 17 区） 東京都産業を活かした観光ルート整備支援事業活用区 台東区（中小製造業アトリ工化支援事業）、豊島区（伝統工芸を巡る小路案内事業）、墨田区（3M運動ガイドマップ）、板橋区（産業観光ガイドブック）、江東区（ものづくりマップ作成）

問題点・課題の改善策検討		
	平成21年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
	区内外のイベント会場、来客施設等での展示、販売を拡大する。	より多くの人に荒川区の優れた商品を知ってもらうことにより、区のイメージアップと観光振興、産業振興を図ることができる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	推進	区の魅力をアピールする上で重要である。

(状況)	H17二定 姉妹友好都市交流における観光振興の視点を。 H17三定 観光情報の効果的な発信について。
------	---

事務事業分析シート（平成20年度）

No1

事務事業名	荒川区観光大使PR事業	部課名	産業経済部観光振興課	課長名	吉野 豊喜
		担当者名	内田 まどか	内線	461
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（19年度）	荒川区観光大使PR事業(54-82-60-01)				
事務事業の種類	新規事業（20年度 19年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	18年度	根拠		
終期設定	有 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	産業革新都市[]			
	政策	人が集う魅力あるまちの形成[06]			
	施策	観光による地域活性化の推進[06-01]			
目的	区の魅力を積極的に紹介していただける著名人を「荒川区観光大使」として任命し、幅広い人脈やネットワークを活かして、荒川区のPRとイメージアップを図る。				
対象者等	荒川区在住又は出身者で、区に愛着を持ち、区の魅力を積極的に紹介していただける著名人				
内容	実施内容 1 それぞれの立場において機会あるごとに荒川区のPRをしてもらう。 2 荒川区観光大使としての名刺を作成。 3 区長と観光大使との対談を実施し、対談内容をケーブルテレビやホームページ等で情報発信する。 4 都電荒川線のポストカードを作成。				
経過					
必要性	著名人を活用した効果的な区のイメージアップ				
実施方法	(1直営) (直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員)				

		（単位：千円）						
		14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
予算・決算額等の推移	予算額					1,379	759	686
	決算額（20年度は見込み）					380	331	686
	人件費					7,686	2,562	
	【事務分担当】（%）					90	30	
	合計（+）	0	0	0	0	8,066	2,893	686
	国（特定財源）							
都（特定財源）								
その他（特定財源）								
一般財源	0	0	0	0	8,066	2,893	686	
実績の推移	事項名	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
	観光大使任命(人)					4	0	2
	区長との対談(回)					1	0	1
	PR活動					名刺作成	冊子作成	随時
					ポストカード作成			

事務事業分析シート（平成20年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成18年度（決算）		平成19年度（決算）		平成20年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	報償費	対談報償費	0	対談報償費	0	対談報償費	0
	旅費	費用弁償	0	費用弁償	0	費用弁償	0
	一般需用費	観光PR名刺印刷	380	観光大使冊子作成	331	消耗品	100
						観光PR名刺印刷	100
						ポストカード作成	486

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		17年度	18年度	19年度	20年度	目標値 (22年度)	
標							

（問題点・課題分析）	
他区の実況	（実施 6 区 未実施 16 区） 中央区（ミス中央）3人、台東区（たいとう観光大使）18人、豊島区（ソメイヨシノ桜の観光大使）3人、北区（北区アンバサダー）6人、品川区（観光大使）5人、墨田区（すみだ親善大使）3人

問題点・課題の改善策検討	
平成21年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	推進	当初の規模で実施する。

議会議況（要旨）	
----------	--

事務事業分析シート（平成20年度）

No1

事務事業名	産業観光推進事業	部課名	産業経済部観光振興課	課長名	吉野 豊喜
		担当者名	野沢 亮	内線	460
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（19年度）	産業観光推進事業（54-85-10-01）				
事務事業の種類	新規事業（20年度 19年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	14 年度	根拠		
終期設定	有 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	産業革新都市[]			
	政策	人が集う魅力あるまちの形成[06]			
	施策	観光による地域活性化の推進[06-01]			
目的	荒川区の産業技術や伝統工芸技術などを、広く区内外に周知し、荒川区の産業観光を推進する。				
対象者等	区民及び区外の人々				
内容	観光PRコーナーの設置 あらかわの伝統技術展（17年度観光クイズ、日暮里富士見坂、18年度都電荒川線切り絵、19年度観光PR） 荒川区産業展（17年度、18年度、19年度「おすすめ品」販売） 荒川遊園ふれあいハウス（18年5月、夏休み、19年5月「おすすめ品」販売） TCK大井競馬場（17年、18年、19年5月、20年7月荒川区特別のレースに合わせ「おすすめ品」販売） つくば市産業展（18年10月28日、29日、19年10月27日、28日「おすすめ品」販売） 鉄道フェスティバル（尾久駅構内18年11月11日、19年11月10日） 荒川車庫おもいで広場オープン（19年5月26日「おすすめ品」販売） 駅からハイキング（19年5月26日、20年5月24日） 千葉ロッテマリンスタジアム（19年6月2、3日東京スタジアム関連イベントで「おすすめ品」販売） 路面電車の日、都電荒川線の日フェスティバル（19年9月29日、20年6月7日「おすすめ品」販売） 旅フェア2008（20年6月19日～22日）				
経過	平成20年度 都電ウォークラリーは事業を分離させた。 荒川ブランドセールスプロモーション事業を統合 伝統技術展は経営支援課へ移行				
必要性	区内観光情報を区外に発信し、区のイメージアップを図る。				
実施方法	（1直営）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）				

		（単位：千円）						
		14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
予算・決算額等の推移	予算額	563	900	900	900	900	2,313	9,552
	決算額（20年度は見込み）	563	506	467	595	457	2,313	9,552
	人件費				3,686	4,270	6,649	
	【事務分担量】（%）				50	50	85	
	合計（+）	563	506	467	4,281	4,727	8,962	9,552
	国（特定財源）							
都（特定財源）								
その他（特定財源）								
一般財源	563	506	467	4,281	4,727	8,962	9,552	
実績の推移	事項名	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
	PR事業(回)		2	2	4	5	9	5
	賞品紹介冊子作成(部)					20,000		20,000
	ブランドPRイベント(回)				1	2	7	6
	産業観光スポット整備(件)						2	5

事務事業分析シート（平成20年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成18年度（決算）		平成19年度（決算）		平成20年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	委託料	伝統技術展	457	伝統技術展	800		
				観光PR	360	観光PR	460
				ウォークラリー	1,153		
						観光スポット支援	5,292
						荒川ブランドPR	3,800

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		17年度	18年度	19年度	20年度	目標値 (22年度)	
	イベント会場での実演・展示実施件数	1件	2件	7件	6件	6件	

（問題点・課題分析）	観光振興、産業振興に結びつく効果的なPR方法を検討、実施する必要がある。
他区の実況	（ 実施 区 未実施 区 ）

問題点・課題の改善策検討		
	平成21年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
	区内外のイベント会場、来客施設等での展示、販売を拡大する。	より多くの人に荒川区の優れた商品を知ってもらうことにより、区のイメージアップと観光振興、産業振興を図ることができる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
継続	推進	現状の規模で実施する。

（状況）	議会質問状	H17二定 産業観光の視点で、姉妹友好都市交流をするべき。 H17二定 日暮里・舎人線の開通に合わせて、イベントを開催してはどうか。 H18一定 観光産業振興を図るため、花電車を走らせたらどうか。 H18四定 都電を活用し、荒川区の観光振興を図るべきである。
------	-------	--

事務事業分析シート（平成20年度）

No1

事務事業名	観光案内標識設置事業	部課名	産業経済部観光振興課	課長名	吉野 豊喜
		担当者名	坂野 竜二	内線	461
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（19年度）	観光案内標識設置事業(54-85-20-01)				
事務事業の種類	新規事業（20年度 19年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	16年度	根拠	東京都観光案内標識設置補助金要綱	
終期設定	有 無	20年度	法令等		
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	産業革新都市[]			
	政策	人が集う魅力あるまちの形成[06]			
	施策	観光による地域活性化の推進[06-01]			
目的	観光客の多様なニーズに対応できる受入環境の整備促進のため、外国人旅行者にも配慮した外国語（英語、中国語、ハングル）標記の観光案内標識を整備する。				
対象者等	荒川区への来訪者				
内容	東京都観光案内標識設置補助金要綱に基づく、補助事業（10/10） 観光案内標識の整備 平成17年度 日暮里地区 4基 平成18年度 南千住地区 5基 平成19年度 都電荒川線沿線 5基 平成20年度 隅田川沿岸 5基(予定)				
経過	平成20年度から、外国人受入体制整備支援事業に変更				
必要性	外国人観光客を含む来訪者の受け入れ体制の充実				
実施方法	（1直営） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）				

		（単位：千円）						
		14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
予算・決算額等の推移	予算額			2,000	6,000	7,500	6,000	0
	決算額（20年度は見込み）			0	4,809	5,576	5,961	0
	人件費				3,448	3,416	3,416	
	【事務分担量】（%）				40	40	40	
	合計（+）	0	0	0	8,257	8,992	9,377	0
	国（特定財源）							
都（特定財源）				4,809	5,575	5,961		
その他（特定財源）								
一般財源	0	0	0	3,448	3,417	3,416	0	
実績の推移	事項名	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
	日暮里地区				4			
	南千住地区					5		
	都電荒川線沿線						5	
	南千住水辺							

事務事業分析シート（平成20年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成18年度（決算）		平成19年度（決算）		平成20年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	委託料	案内標識データ作成	1,397	案内標識データ作成	1,243		
	委託料	案内標識看板作成	4,179	案内標識看板作成	4,718		

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		17年度	18年度	19年度	20年度	目標値 (22年度)	
標	設置標識数	4基	5基	5基	5基		東京都補助事業（時限事業）の状況による

（問題点・課題分析）	
実施状況	（ 実施 区 未実施 区 ） 台東区、豊島区、中央区、葛飾区（16年度）、千代田区（17年度）

問題点・課題の改善策検討	
平成21年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	継続	東京都の補助事業（時限事業）の状況により、実施内容を検討する。

状況（要旨）	
--------	--

事務事業分析シート（平成20年度）

No1

事務事業名	観光イベント助成	部課名	産業経済部観光振興課	課長名	吉野 豊喜
		担当者名	日下、野沢、森田	内線	461
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（19年度）	その他観光イベント助成（54-85-40-01） 川の手荒川まつり助成（54-85-30-01）				
事務事業の種類	新規事業（20年度 19年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	62 年度	根拠	荒川区観光振興事業補助金交付要綱	
終期設定	有 無	年度	法令等	川の手荒川まつり実行委員会実施事業補助金交付要綱	
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	産業革新都市[]			
	政策	人が集う魅力あるまちの形成[06]			
	施策	観光による地域活性化の推進[06-01]			
目的	区民の開催する観光事業を支援し、区民とともに観光資源を育成する。				
対象者等	区民主体の民間団体				
内容	<p>1 川の手荒川まつり 平成18年度 南千住野球場 20,004千円(20回記念シンポジウムや郷土芸能の祭典) 平成19年度 東尾久運動場 7,500千円 平成20年度 荒川遊園運動場 8,500千円</p> <p>2 シダレザクラ祭り 平成16年度 1,450千円 平成17年度 1,588千円 平成18年度 2,175千円 ホタル鑑賞の夕べ(50千円) 矢立初めの俳句大会(50千円) 平成19年度 2,192千円 ダイヤモンド富士(50千円) 鈴虫の音色を聞く会(30千円) 矢立初めの俳句大会(50千円) 隅田川お花見クルーズ(50千円)</p> <p>3 観光振興事業補助 平成17年度 1件 50千円 平成18年度 2件 100千円 平成19年度 4件 180千円</p>				
経過	1 川の手荒川まつり 昭和62年から、毎年4月29日(祝)に実施。17年の実行委員会において開催場所を南千住野球場、東尾久運動場、荒川遊園運動場、汐入公園で毎年開催するとことをルール化した。				
必要性	地域が主体となって、実施している事業を支援し、定着させる。				
実施方法	(1直営) (直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員)				

予算・決算額等の推移	(単位：千円)							
	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	
予算額	9,530	9,036	11,387	10,075	28,920	10,074	10,074	
決算額(20年度は見込み)	9,476	8,023	9,004	9,221	22,316	9,927	10,074	
人件費				12,158	6,694	9,271		
【事務分担当】(%)				170	100	130		
合計(+)	9,476	8,023	9,004	21,379	29,010	19,198	10,074	
国(特定財源)								
都(特定財源)								
その他(特定財源)								
一般財源	9,476	8,023	9,004	21,379	29,010	19,198	10,074	
実績の推移	事項名	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
	シダレザクラ祭り参加者			500人	3000人	5000人	7000人	7000人
	事業補助金				1件	2件	4件	5件
	川の手荒川まつり来場者			100千人	40千人	60千人	60千人	60千人
	川の手荒川まつり参加団体				121	124	178	178

事務事業分析シート（平成20年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成18年度（決算）		平成19年度（決算）		平成20年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
補助金	シダレザクラ祭り補助金		2,175	シダレザクラ祭り補助金	2,192	シダレザクラ祭り補助金	2,200
	事業補助金(ホテル・俳句)		100	事業補助金	180	事業補助金	250
	川の手荒川まつり補助金		20,041	川の手荒川まつり補助金	7,555	川の手荒川まつり補助金	9,028
						日暮里イベント	1,000
						フォトコンテスト	210

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		17年度	18年度	19年度	20年度	目標値 (22年度)	
標	観光事業補助金申請件数	1件	2件	4件	5件	5件	
	シダレザクラ祭り来客数 (人)	3千人	5千人	7千人	7千人	7千人	
	川の手荒川まつり来場者数 (人)	40千人	60千人	60千人	60千人	60千人	

(問題点・課題分析)	
他区の実況	(実施 区 未実施 区)

問題点・課題の改善策検討	
平成21年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
重点的に推進	重点的に推進	観光振興を図る上で、区民・事業者の自主的活動の支援を進める必要がある。

議会(要質問)状況	H16一定 沿線商店街と連携した都電乗客サービスの提供と路面電車サミットの開催について H14三定 都電沿線の文化祭における区及び地元商店街の関わり方について
-----------	--

事務事業分析シート（平成20年度）

No1

事務事業名	観光振興懇談会運営費	部課名	産業経済部観光振興課	課長名	吉野 豊喜
		担当者名	坂野 竜二	内線	461
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（19年度）	観光振興懇談会運営費(54-88-50-01)				
事務事業の種類	新規事業（20年度 19年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	18 年度	根拠法令等	荒川区観光振興懇談会設置要綱	
終期設定	有 無	19 年度			
実施基準	法令基準内 都基準内 区独自基準		計画区分	計画	非計画
行政評価事業体系	分野	産業革新都市[]			
	政策	人が集う魅力あるまちの形成[06]			
	施策	観光による地域活性化の推進[06-01]			
目的	観光に関する様々な分野の有識者で構成する懇談会において、区の観光振興の目指すべき方向とその実現のために必要な具体的施策等について検討いただき、その提言に基づき、区の観光振興施策の効果的な推進を図る。				
対象者等	学識経験者、観光関係団体、観光・交通事業者、産業団体関係者等				
内容	<p>【平成18年度】 懇談事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 区内の観光及び観光資源の現状 2 これまでの観光振興施策 3 他自治体における事例等の調査研究 4 調査機関による基礎調査の分析・検討 5 観光振興施策の今後の方向性及び具体的施策 <p>【平成19年度・20年度】 18年度の調査報告書、懇談会提言に基づく区の観光施策の実施状況やその他の社会情勢変化に伴う見直し等の検討・検証</p>				
経過					
必要性	より多くの来訪者を呼び込むために新たな観光施策の検討が必要である。				
実施方法	(1直営) (直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員)				

		（単位：千円）						
		14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
予算・決算額等の推移	予算額					8,357	2,142	1,058
	決算額（20年度は見込み）					6,050	412	1,058
	人件費					7,686	3,416	
	【事務分担当】（％）					90	40	
	合計（＋）	0	0	0	0	13,736	3,828	1,058
	国（特定財源）							
	都（特定財源）							
その他（特定財源）								
一般財源	0	0	0	0	13,736	3,828	1,058	
実績の推移	事項名	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
	観光基礎調査					実施		
	懇談会					5回	2回	3回

事務事業分析シート（平成20年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成18年度（決算）		平成19年度（決算）		平成20年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	報償費	委員報酬	772	委員報酬	277	委員報酬	773
	旅費	視察旅費等	30	視察旅費等	10	視察旅費等	39
	食糧費	賄い	52	賄い	12	賄い	70
	一般需用	消耗品	84	消耗品	59	消耗品	50
	役務費	テープ反訳	129	テープ反訳	52	テープ反訳	105
	委託料	基礎調査委託	4,983				
	使用料	会場使用料	0	会場使用料	2	会場使用料	21

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		17年度	18年度	19年度	20年度	目標値 (22年度)	
	開催回数		5回	2回	3回		

（問題点・課題分析）	懇談会の報告を区の施策に反映させる必要がある。
他区の実況	（実施 7 区 未実施 15 区）

問題点・課題の改善策検討		
	平成21年度以降に取り組み具体的な改善内容	改善により期待する効果
	懇談会の報告を踏まえ、区の観光施策の方向性と新たに取り組むべき事業を明確にし、直ちに実施する必要がある事業に着手する。	区の観光振興の方向性を踏まえ中長期的な対応が必要な事業も含め、体系的、計画的に事業を実施していくことができる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	推進	今後の観光振興の方向性や具体的施策を検討するものである。

議会議況（要旨）	
----------	--

事務事業分析シート（平成20年度）

No1

事務事業名	都電荒川線活用事業	部課名	産業経済部観光振興課	課長名	吉野 豊喜
		担当者名	内田まどか	内線	461
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（20年度）	都電荒川線活用事業（54-85-15-01）				
事務事業の種類	新規事業（20年度 19年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和	平成	19年度	根拠	
終期設定	有	無	年度	法令等	
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	産業革新都市[]			
	政策	人が集う魅力あるまちの形成[06]			
	施策	観光による地域活性化の推進[06-01]			
目的	区の観光スポットである都電荒川線を活用し、区外からの観光客を呼び込む。				
対象者等	区民、区外の人々及び来訪者				
内容	<p>【平成19年度】</p> <p>実施日 9月29日（土）</p> <p>主催 荒川区、北区</p> <p>協力 荒川区商店街連合会</p> <p>コース 南千住コース、町屋コース、尾久コース、王子コース</p> <p>参加商店街 ジョイフル三ノ輪、コツ通り商店街、町屋駅前銀座商店街、町屋アベニュー、尾久本町通商店会、ふれあいCITY尾久銀座、はっぴーもーる熊野前</p> <p>【平成20年度】</p> <p>実施日 10月12日（日）</p> <p>主催 荒川区、北区</p> <p>協力 荒川区商店街連合会、東京商工会議所荒川支部、北支部</p> <p>コース 南千住コース、町屋コース、尾久コース、王子コース</p> <p>参加商店街 ジョイフル三ノ輪、コツ通り商店街、町屋駅前銀座商店街、町屋アベニュー、尾久本町通商店会、ふれあいCITY尾久銀座、はっぴーもーる熊野前</p>				
経過					
必要性					
実施方法	（1直営） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 都電荒川線を活用し、区のイメージアップを図る。				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	
予算額							826	
決算額（20年度は見込み）							826	
人件費								
【事務分担量】（%）								
合計（+）	0	0	0	0	0	0	826	
国（特定財源）								
都（特定財源）								
その他（特定財源）								
一般財源	0	0	0	0	0	0	826	
実績の推移	事項名	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
	都電荒川線沿線ウォークラリー							実施

事務事業分析シート（平成20年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成18年度（決算）		平成19年度（決算）		平成20年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	一般需用費					参加記念品ほか	200
						台紙、ポスター印刷	467
	役務費委託料					ポスター掲出料	31
						フラッグ作成	128

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		17年度	18年度	19年度	20年度	目標値 (22年度)	
	都電荒川線沿線ウォークラリー参加者数（人）				1,000	1,000	

（問題点・課題分析）	
他区の実況	（ 実施 区 未実施 区 ）

問題点・課題の改善策検討	
平成21年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
	推進	観光振興を図るうえで来訪者を増やすことは重要である。

議会議況（要旨）	
----------	--

事務事業分析シート（平成20年度）

No1

事務事業名	受入体制整備事業	部課名	産業経済部観光振興課	課長名	吉野 豊喜
		担当者名	内田まどか	内線	461
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（20年度）	受入体制整備事業（				
事務事業の種類	新規事業（20年度 19年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和	平成	17年度	根拠	
終期設定	有	無	年度	法令等	
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	産業革新都市[]			
	政策	人が集う魅力あるまちの形成[06]			
	施策	観光による地域活性化の推進[06-01]			
目的	来訪者の受入体制の充実を図る。				
対象者等	来訪者				
内容	<p>1 観光案内標識設置事業 東京都観光案内標識設置補助金交付要綱に基づく補助事業 17年度 日暮里地区 4基 18年度 南千住地区 5基 19年度 都電荒川線沿線 5基 20年度 隅田川沿岸 5基</p> <p>2 外国人来訪者受入体制整備支援事業 外国語版ホームページ・パンフレットの作成支援 区内の宿泊施設を営む事業者が外国語版のホームページ又はパンフレットを「新規に作成する場合の初期経費の一部（3分の2上限20万円）を補助する。</p> <p>外国人来訪者向け対応・標記研修の実施 区内の宿泊施設及び飲食店の方を対象に外国人来訪者への接遇や標記方法の習得等の研修を実施する。</p>				
経過	観光案内標識設置事業 平成17年度事業開始(04-03-08観光案内標識設置事業から組み替え) 外国人来訪者受入体制整備支援事業 平成20年度事業開始				
必要性	外国人旅行者の受入れ体制の充実				
実施方法	(1直営) (直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員)				

		（単位：千円）						
		14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
予算・決算額等の推移	予算額							10,005
	決算額（20年度は見込み）							10,005
	人件費							
	【事務分担量】（%）							
	合計（+）	0	0	0	0	0	0	10,005
	国（特定財源）							
都（特定財源）							9,000	
その他（特定財源）								
一般財源	0	0	0	0	0	0	1,005	
実績の推移	事項名	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
	観光案内標識設置							5基
	外国語版HP作成支援							5件
	対応・標記研修							2回

事務事業分析シート（平成20年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成18年度（決算）		平成19年度（決算）		平成20年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	委託料					観光案内標識データ	2,000
						観光案内標識設置	7,000
	使用料					対応標記研修	5
	補助金					外国後版HP作成支援	1,000

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		17年度	18年度	19年度	20年度	目標値 (22年度)	
標	設置標識数	4基	9基	14基	19基		東京都補助事業（時限事業）の状況による
	外国語版HP作成支援				5件	10件	

（問題点・課題分析）	
他区の実況	（実施 6 区 未実施 16 区） 観光案内標識...台東区、豊島区、中央区、葛飾区、千代田区、足立区

問題点・課題の改善策検討	
平成21年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
宿泊施設等において、外国人来訪者を積極的に受け入れるよう啓発に努める。	外国人受入れ増加に伴い、産業と観光の振興を図ることができる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
	推進	外国人来訪者の受入体制の充実を図る。

議会議況（要旨）	
----------	--